

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人洛西永正福祉会 あひるが丘こども園	施設 種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和3年3月9日

総 評	<p>昭和42年に保育園として開設され、平成31年度より幼保連携型認定こども園に移行し、半世紀にわたり、地域に根差した保育事業に取り組んできました。周辺を新興住宅地に囲まれた静かな立地にあるこども園です。</p> <p>保育理念である「あらゆるものの生命への慈しみの心を育てる」を礎として、子どもの主体性と多様な人間関係を大切に日々の保育を行っています。敷地内の「裏山」では様々な自然体験を重ね、保護者や地域ボランティアの方々、保育者が作った手作りの遊具や玩具など、立場の異なる大人が人的環境として子どもに関わる機会を多く設けています。</p> <p>「子どもを囲う大人の人的環境を大切にしたい」と園長自ら保育現場に入り、保育者、保護者と共に子どもと直に触れ、それぞれの視点、思いの異なりを受け止めて語り合うことを通して実践されています。</p> <p>充足した自然環境、異年齢児交流保育で体験する年長児への「憧れ」や年少児への「優しさ」、同年齢で行われる生活場面での切磋琢磨など、様々な思いを認め合う大人の姿が子どもたちに安心を与え、子ども同士の関係性を豊かにする保育内容に努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 園長、副園長は、職員間の良好な人間関係を構築するために、年1回の個人面接に加え、職員の声を拾うなど互いの考えを分かち合う雰囲気や関係性を大切にしています。 園庭の竹林を保育の環境として1歳児から利用しています。自然の斜面や、木々、そこに来る生き物などと触れ合いながら、自然の環境の中で豊かな遊び体験を行っています。 安心安全な旬の野菜の提供を心掛け、給食で提供される野菜は、大原野の契約農家から購入しています。栄養士は、子どもたちが実際に食べている姿を観察し、献立の作成や調理の工夫に反映しています。保護者への情報提供も含めて、Instagramを利用し、毎日の給食を配信しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット等日常に潜む危険に対して、事故防止委員会を結成し園内の危険個所のチェックを随時行っています。また、気付きのあった危険個所の記録を残し、職員会議等を通して職員間での共有を図られています。記録からどのように改善したのか、これからの環境構成に活かしていくような仕組みを構築するなど、改善の内容を記録できるとより良いでしょう。 中・長期計画を作成することで客観的、長期的な視点を持って実現に向けた時間や金額、それらをどのように運用するかなどの具体的な計画を策定すればより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人 洛西永正福祉会 あひるが丘こども園
施設種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	2021年3月9日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a

[自由記述欄]

・保育理念・基本方針は、リーフレットや入園のしおり（重要事項説明書）等に明文化されており、職員会議や園長自らが保育へ参加することを通して、行動も含め職員への周知が行われています。保護者にも入園説明会などの際に説明をされています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	b

[自由記述欄]

・地域の幼稚園、小学校や児童相談所、消防などが参加する子ども子育て会議へ参加し、様々な地域の課題や要望に関する情報を収集しています。また、外部の会計事務所からのアドバイスを受けながら、毎月経理に関する分析会議を設け経営環境の変化に柔軟に対応できるよう努めています。

・理事・評議員会で、地域内の自園に関する経営課題の分析や、将来性を見据えた具体的な対策の構想を共有しています。具体的な構想はありますが、分析したデータや経営課題を文書化し、より客観的に情報の共有や分析を行うとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	b
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	a

[自由記述欄]

・単年度の事業計画は策定されていますが、3～5年を見据えた中・長期計画は策定されていません。中・長期を見据えた計画を、具体的な数値や収支目標を定め、策定されるとより良いでしょう。

・単年度の事業計画を、毎年全職員の意見を集約して策定しています。また、説明会などで説明し保護者への周知にも取り組んでいます。今後は策定だけでなく、実施した計画の効果や課題に対する見直しを行い、記録として残すと良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a

[自由記述欄]

・毎月、乳児・幼児の会議やパート職員も含めた全体会議など複数の会議を行い、保育現場の課題の収集と対策に組織的に取り組むことで、保育の質の向上に努めています。取り組みの結果を記録に残し、具体的な結果をもとに見直しを行う仕組みがあればより良いでしょう。

・定期的に第三者評価を受診したり、次年度に向けての自己評価を行ったりと、保育の質をより高めるため課題の明確化や改善に取り組んでいます。取り組みにより出来上がったルールなどをマニュアル化し情報を整理するとより良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

・園長は、自らの役割・責任を明確にした文書を作成し、職員に対し閲覧できる状態で明示しています。また、公的な会議やその場での関係性の中で法令や制度に対する情報を集め、職員会議などを通して職員が理解を深められるよう、自ら周知するなどの努力を行っています。

・園長や管理職が保育現場に立つことで、保育に対する考えを実践的に示し、より近い場所で職員の考えを見聞きし指導を行っています。また、登降園システムやiPadなどを導入するなど業務の円滑化及び省力化に取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

・人材確保のために積極的に就職フェア等に参加しています。また、各学校を通して学生に直接呼びかけ、保育現場に参加してもらうことで保育の楽しさを体験してもらう独自の学生交流事業の機会を設けています。

・ワークライフバランスを考慮し、育児中の職員は短時間勤務になるよう配慮したり、福利厚生の一環として職員対象のヨガ教室を開催したりなど職員が働きやすい環境の実現に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a

[自由記述欄]

・人事考課シートを作成し、期待する姿を明確に提示しています。12月に行われる面談とその際に使用される面談シートを用いて、自身の目指したい姿や振り返りを行っています。

・実習生の受け入れマニュアルが、実習生側と職員側それぞれの立場で用意してあります。指導する職員の水準をより高めるため、職員の相互チェック的な仕組みを策定し、実施できればより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a

[自由記述欄]

・月1回、経理情報の整理を行うための分析会議を設け、会計事務所など外部の専門家の指導を受け、公正な経営・運営に取り組まれています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a

[自由記述欄]

- ・地域交流の一環として近隣の病院やデイサービスとの交流会や、地域の高齢者を対象にした年2回の敬老の集い、地域に開放する夏祭りやバザーなど地域交流の機会は多く設けられています。
- ・ボランティアの受け入れに関して、マニュアルを整備し、開始前に園の方針や保育目標などの説明を行っています。また、個人情報の取扱いに関しても誓約書を作成しています。
- ・子ども子育て会議などを通して、外部の関係機関と情報を共有し、子育てセンターサポート事業「おひさま」や育児相談などを通して、園の機能を地域に還元しています。それらの活動や連携内容を記録し、整理することで、今後の活動の方向性をより具体的に計画できれば良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a

[自由記述欄]

・日々の長時間保育時間や年長児の行事前などに、園長や副園長など管理職が自ら保育に参加することで、理念や保育目標を現場の保育者に直接指導するとともに、保育者個々の考えを肯定的にとらえ、多様な視点を保ちつつ、子ども主体の保育を行うよう努めています。

・入園希望者には園庭解放や育児相談など外部の方を受け入れる取り組みを案内の上、個別の相談にも園長をはじめ管理職が対応を行っています。リーフレットを行政施設などで配布したり、HPで情報発信しています。保育の開始時や変更時には説明を行い、入園のしおりには卒退園後の相談に関する窓口の案内を記載するなど、継続的な育児支援を行えるよう努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	b
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

・保育者と保護者のやり取りを連絡ノートなどを通して行うと共に、日常での保護者との会話を、現場、管理者共に大切にしています。ご意見箱の設置や匿名のアンケートはあえて行わず、忌憚ない意見のやり取りを行える関係性の構築に重点を置き、日々保護者対応を行っています。今後は、関係性が深まる前の段階の保護者からも余さず意見が集められるように匿名性を保障するようなご意見箱やアンケートの実施が行われるとより良いでしょう。

・苦情解決マニュアルの策定など保護者からの意見に関しては、エスカレーションルートや対応のマニュアルが整備されています。意見の蓄積と共に、対応内容の記録を整理し、職員の育成など組織のさらなる成長に還元できる仕組みを整えるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a

[自由記述欄]

・事故発生時や不審者侵入時の緊急時に対応できるよう、AEDの使用や不審者対応の研修を行うと共に、各種のマニュアルを職員全員に配布し、いつでも職員が確認できるよう取り組まれています。緊急時の連絡先や各職員の役割を分かりやすく掲示するなど、一目で共有できるよう工夫を行うとより良いでしょう。

・ヒヤリハット等日常に潜む危険に対して事故防止委員会を結成し園内の危険個所のチェックを随時行っています。また、気付きのあった危険個所の記録を残し、職員会議等を通して職員間での共有を図られています。記録からどのように改善したのか、これからの環境構成に活かしていくような仕組みを構築するなど、改善の内容を記録できるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

[自由記述欄]

- ・標準的な実践方法に関して文書化し職員へ配布しています。ベテラン保育士と組んで現場経験を積んだり、早朝保育などの中で副園長や主幹保育士と共に保育経験を深めるなど、OJT環境の整備も行われています。業務改善のために取り入れているICT環境を活用しています。
- ・3歳以上児にも個別指導計画を作成し、定期的な見直しを行われています。カリキュラム検討学習会で各クラスのカリキュラムを毎月に見直し、保育に反映させる仕組みが構築されています。
- ・保育の記録に関して記入内容に大きな差異が出ないよう、記入項目の整理を行い、職員へ周知しています。また、情報の引継ぎなどは情報共有ノートへの記入を行うことで、各職員の理解に差が出ないよう工夫しています。個人情報保護マニュアルや保護規程を用い、常勤・非常勤に関わらず全職員に研修を実施するとともに、遵守するよう誓約書を交わしています。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

・園舎は、木材が多用されていたり、採光が工夫されていたりと、温かみのある落ち着いた雰囲気があり、子どもたちが安心して過ごせるよう配慮がなされています。また、園庭には大きな桜やアケビなどの木々が植えられ、自然と調和した木製の三角馬や竹馬など、手作りの遊具があります。さらに自然豊かな裏山も子どもたちがいつでも遊べるように開放されています。室内も同様に、発達に応じ一つ一つ吟味された手作りの家具や遊具などを、いつでも好きなものが選択できるよう設置されています。また、さりげなく置かれている自然物を利用した装飾等があります。

・物的環境のみならず、人的な環境も大切にされており、保育者一人一人が穏やかで丁寧な言葉がけを心がけています。

・遊びの中で育まれる社会性や主体性、想像力、創造力等を大切に考え、豊かな自然の中で子ども達が興味や関心を広げ、創意工夫をしながら遊べるような環境を提供することを努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

・0.1.2歳児クラスはくつろいだ雰囲気作りを心掛けており、玩具の素材や色合いにこだわりを持ち、環境構成に努めています。一人一人の発達に応じた手作りの玩具も多く、保育者の創意工夫が感じられます。担任を中心とした特定の保育者との信頼関係を土台に、一人一人の興味関心の範囲を広げていけるように努めています。保育室から園庭、ウッドデッキや天然芝の庭に出ることができ、一人一人の発達過程やその日の体調や興味に応じて様々な場所で保育が展開されます。

・日常的に異年齢での関わりを大切にしており、大きい子が小さい子の衣服の着脱を手伝う機会を設けたり、異年齢グループでの活動に取り組んだりしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

・カリキュラム会議等で健康や食育に関した領域の検討を行い、一人一人の発達過程、健康状況、家庭環境等をふまえて立案し、クラス担任を含む職員全体で共有、実践しています。

・安心安全な旬の野菜の提供を心掛け、給食で提供される野菜は、大原野の契約農家から購入しています。調理場が保育室にいる子ども達から見えるよう設計されており、食材や調理器具、調理の過程がより身近に感じられるよう工夫されています。また、栄養士は、子ども達が実際に食べている姿を観察し、献立の作成や調理の工夫に反映しています。保護者への情報提供も含めて、インスタグラムを利用し、毎日の給食を配信しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

・連絡ノートやホームページ、クラス便り等で日々の保育の様子を伝え、保護者の相談にのっています。

・月のカリキュラム会議に加え、毎年12月に実施する職員の個人面談に合わせて、記入する保育者等の自己振り返り記録を用いることで、前年度の自己評価と現在の自分の姿を照らし合わせることで、目指すべき方向性を示し、個々の保育の質の向上・改善に役立てています。